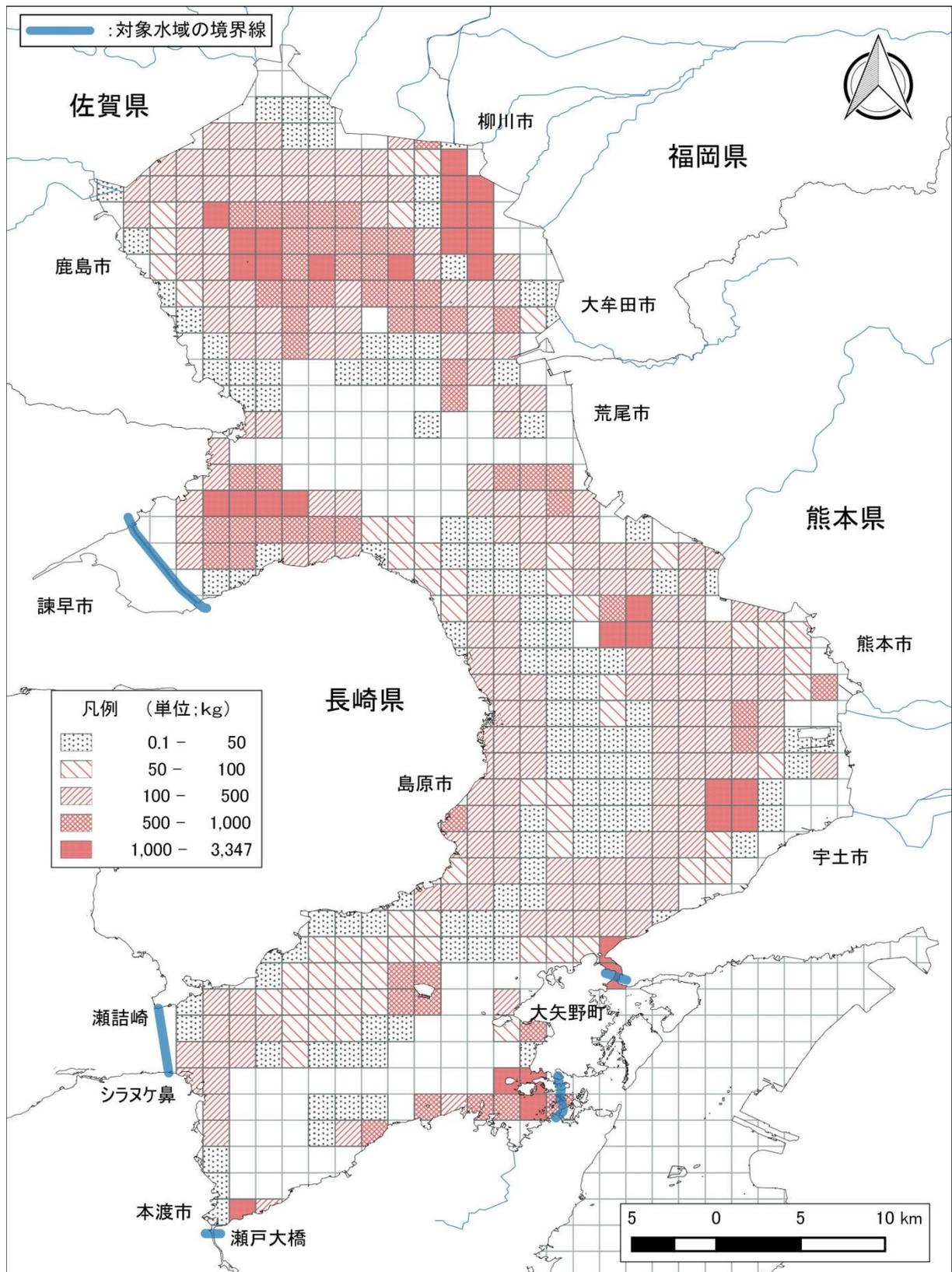


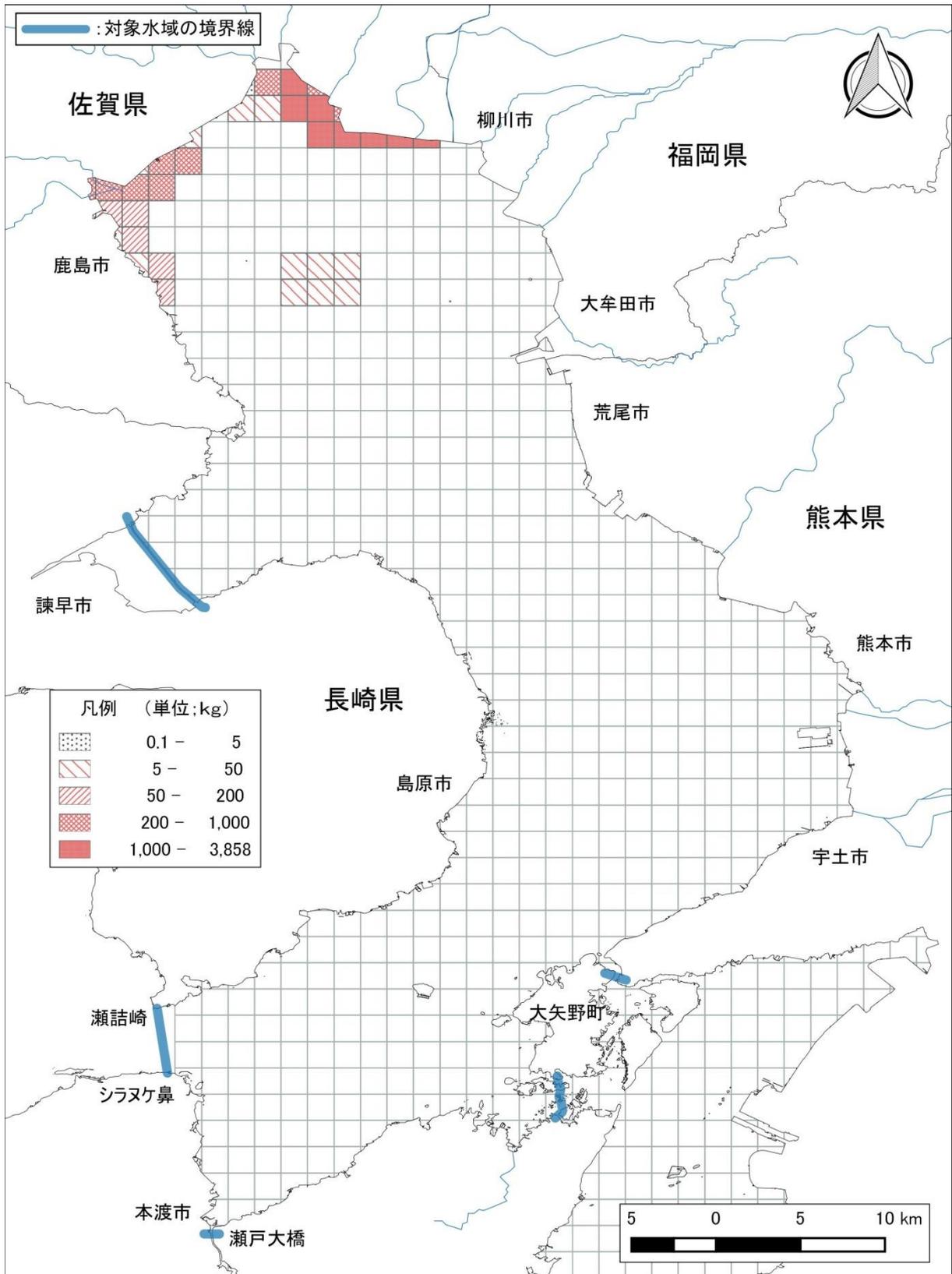
表 6 主要魚介類の漁場分布からみた干潟・藻場等の利用状況

魚種	産卵場として利用されていると考えられる干潟・藻場等
スズキ	湾奥部の浅場、湾中央部の浅場、湾口部の藻場
ムツゴロウ	湾奥部の干潟
ヒラメ	湾口部の藻場及び浅場
ウシノシタ類(イヌノシタ、コウライアカシタビラメ、アカシタビラメ)	湾奥部の干潟及び浅場、湾中央部の干潟及び浅場、湾口部の浅場
カレイ類 (マコガレイ・ホシガレイ)	湾中央部の浅場、湾口部の藻場及び浅場
マダイ	湾口部の藻場
クロダイ	湾中央部の浅場、湾口部の藻場
クルマエビ	湾奥部の浅場、湾中央部の干潟及び浅場、湾口部の浅場
ガザミ	湾奥部の浅場、湾中央部の浅場、湾口部の藻場
アサリ	湾奥部の干潟、湾中央部熊本県沿岸の干潟
サルボウ	湾奥部の干潟及び浅場
ハマグリ類 (ハマグリ)	湾中央部熊本県沿岸の干潟
タイラギ	湾奥部の干潟
貝類 (マテガイ、アゲマキガイ)	湾奥部の干潟、湾中央部熊本県沿岸の干潟



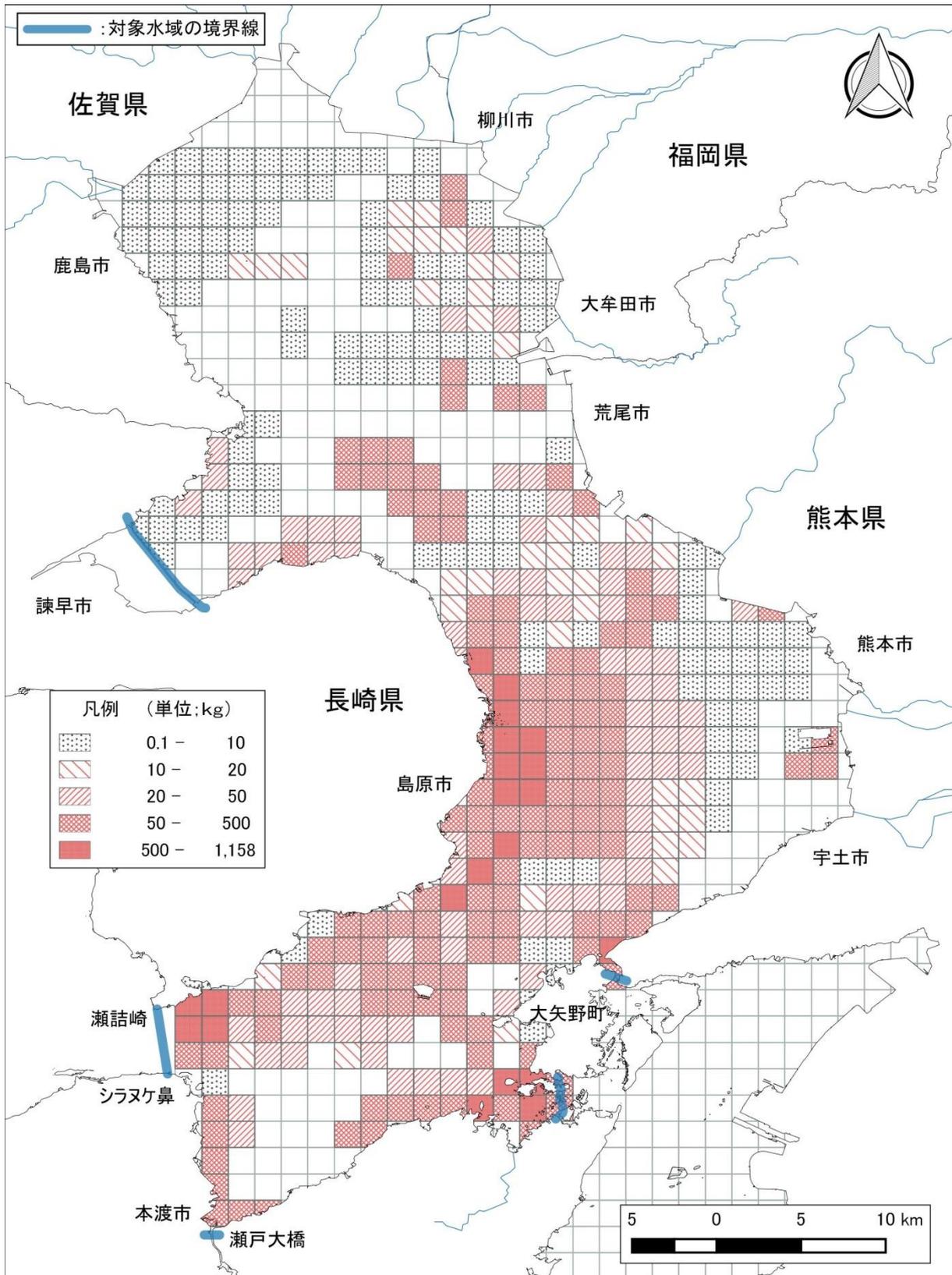
〔有明海〕 漁場分布図 【スズキ】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

図 11(1) 主要魚種の漁場分布図 (スズキ)



〔有明海〕 漁場分布図 【ムツゴロウ】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

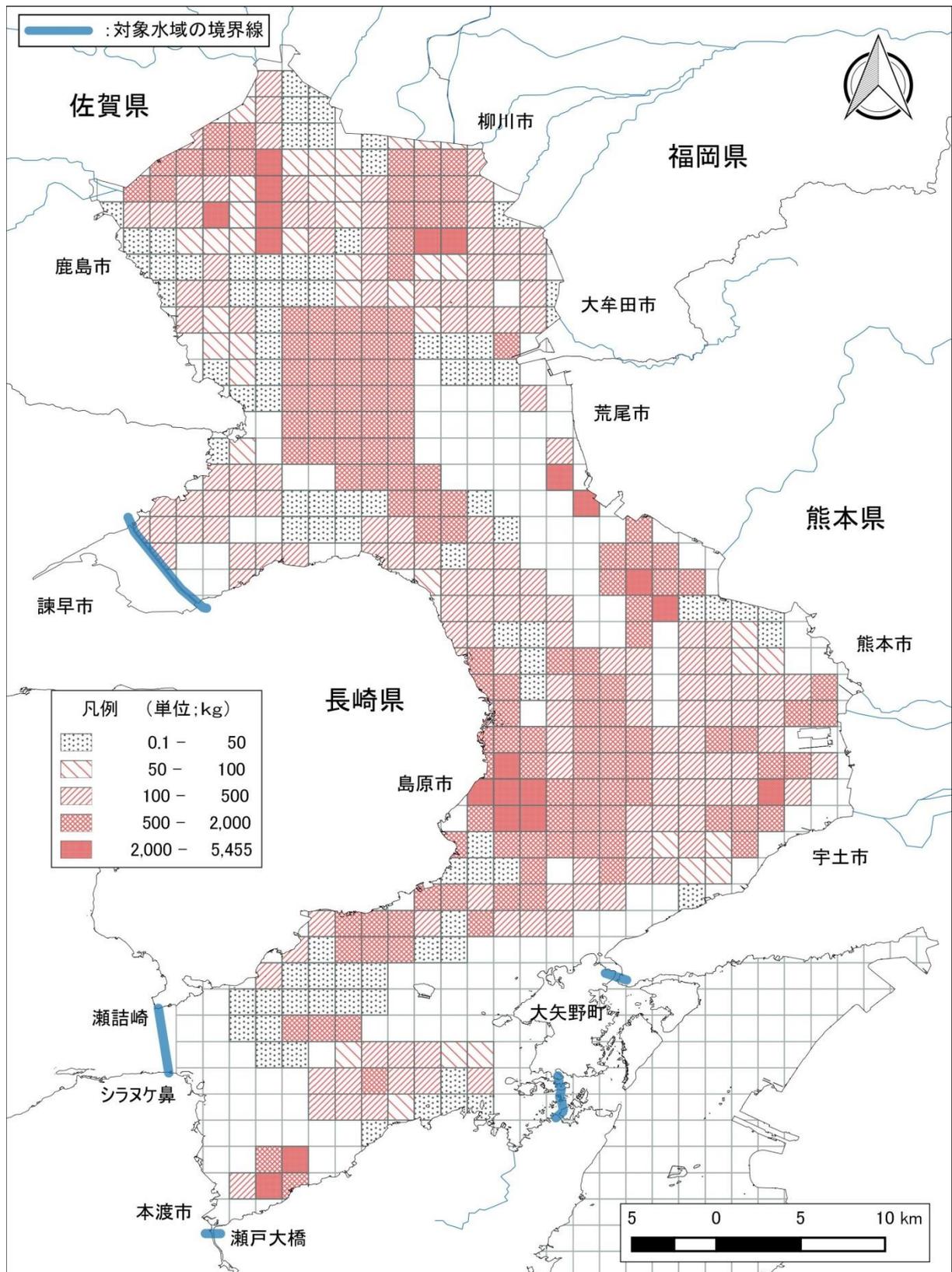
図 11(2) 主要魚種の漁場分布図 (ムツゴロウ)



〔有明海〕 漁場分布図 【ヒラメ】

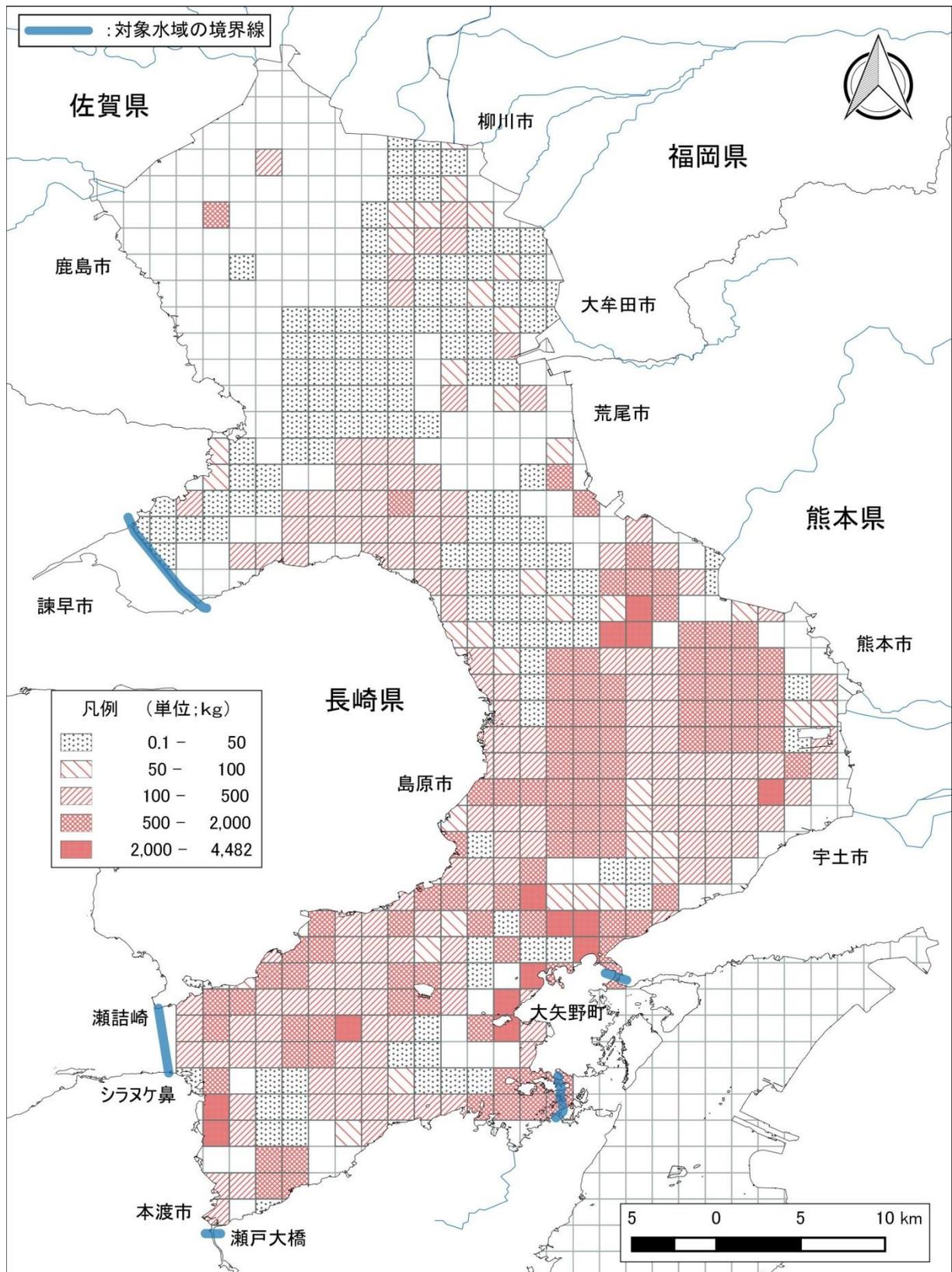
出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク
(平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

図 11(3) 主要魚種の漁場分布図 (ヒラメ)



〔有明海〕 漁場分布図 【ウシノシタ】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

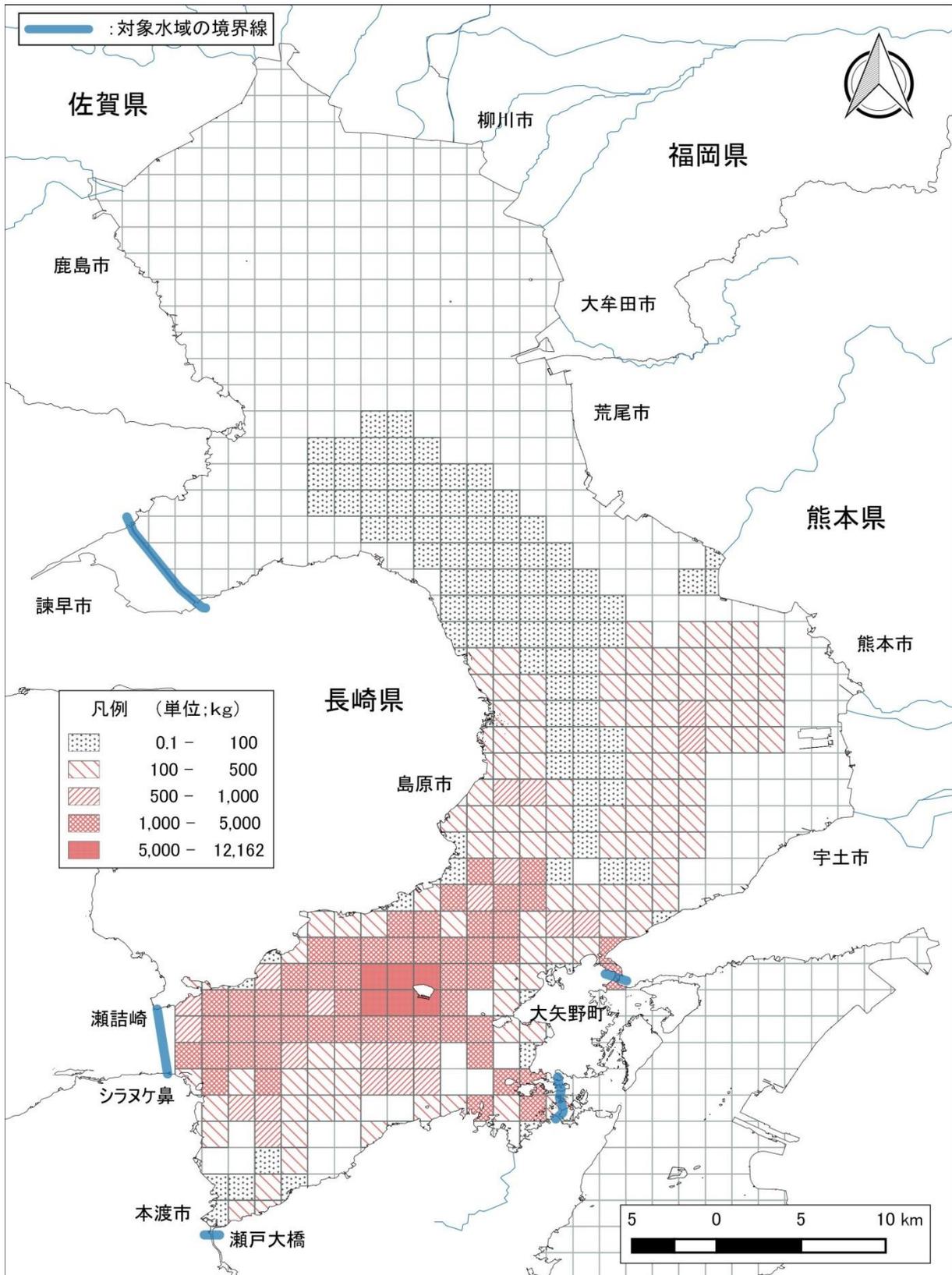
図 11(4) 主要魚種の漁場分布図 (ウシノシタ類)



〔有明海〕 漁場分布図 【カレイ類】

出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク
(平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

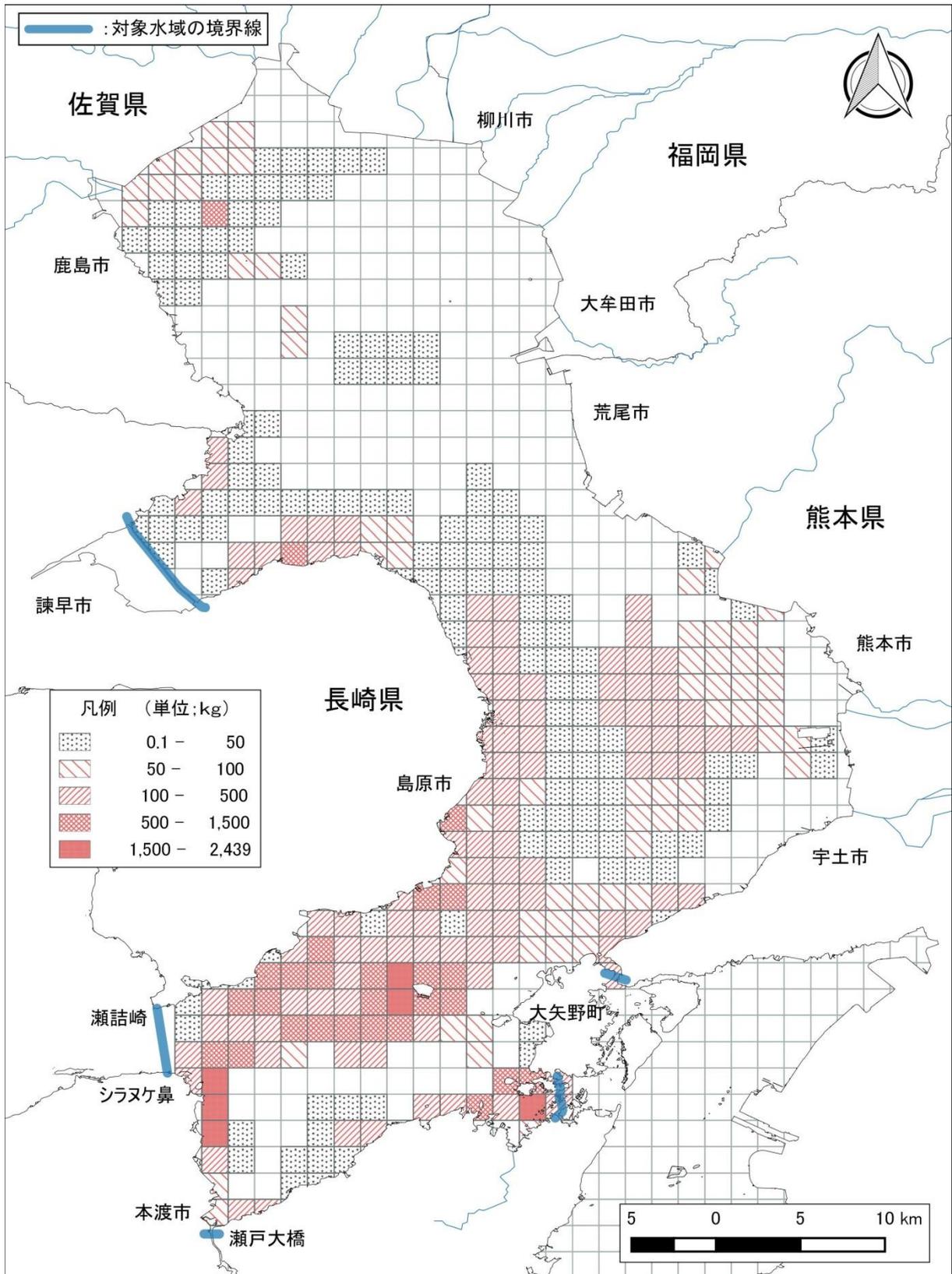
図 11(5) 主要魚種の漁場分布図 (カレイ類)



〔有明海〕 漁場分布図 【マダイ】

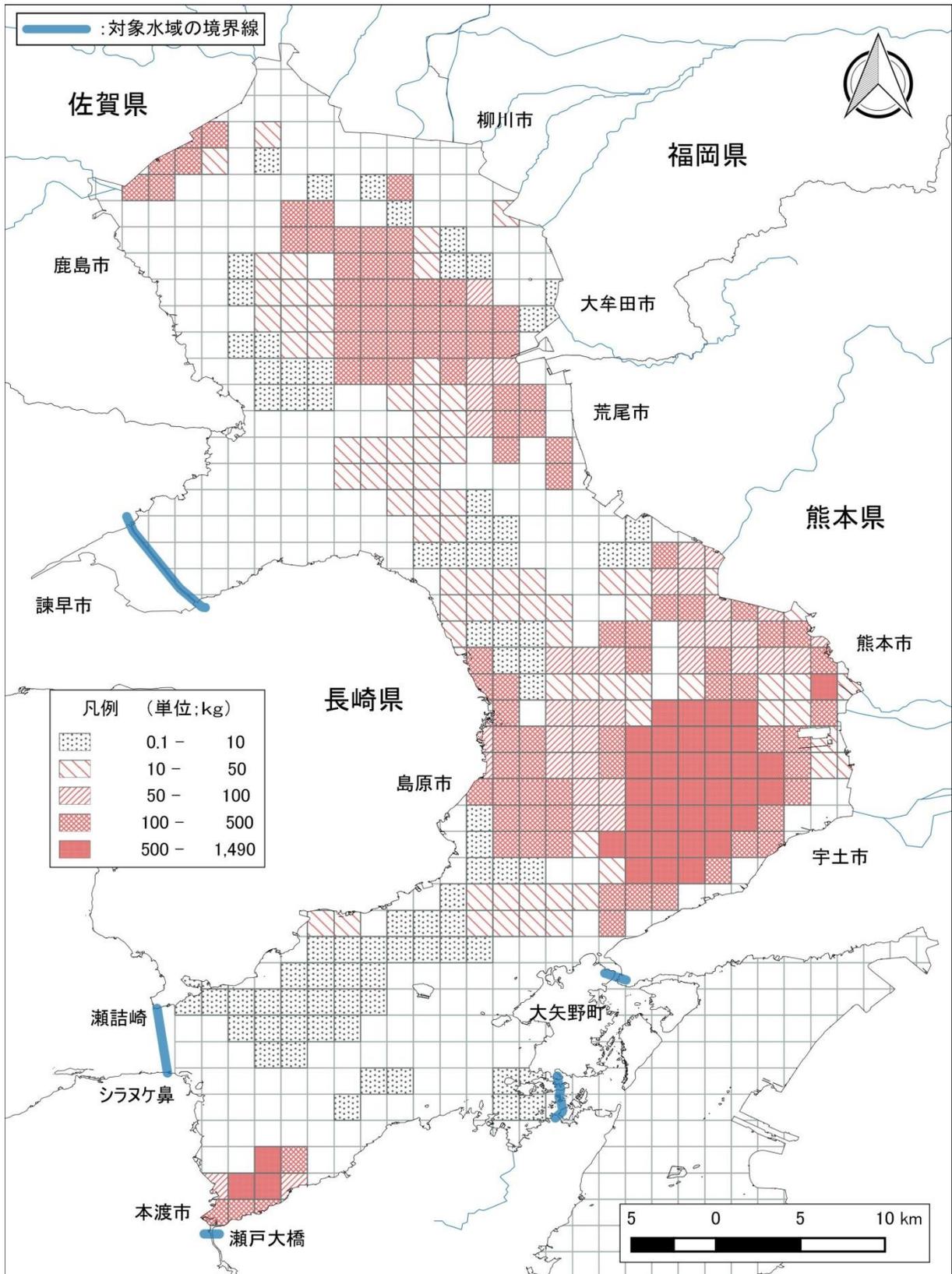
出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク
(平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

図 11(6) 主要魚種の漁場分布図 (マダイ)



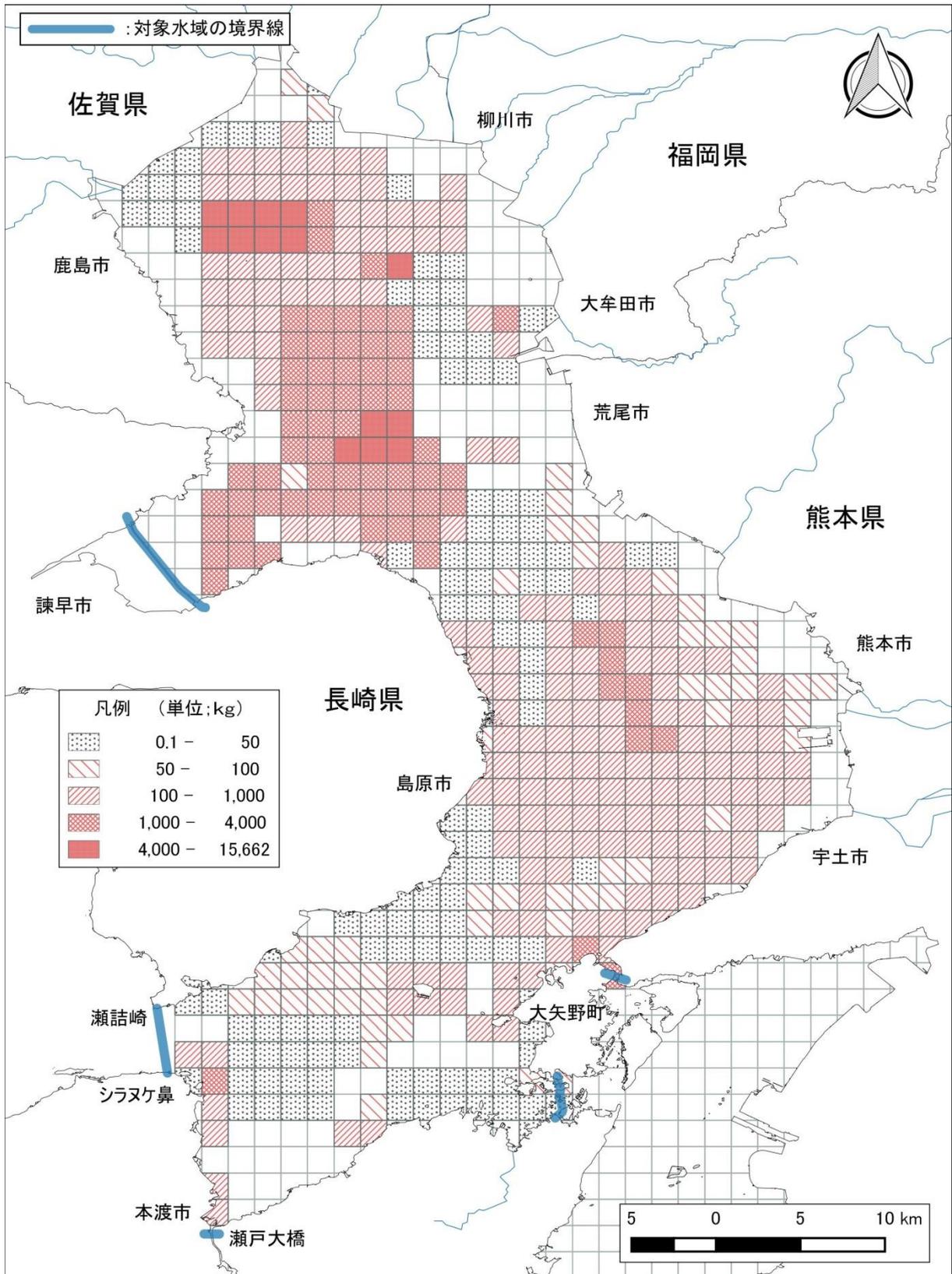
〔有明海〕 漁場分布図【クロダイ・ヘダイ】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

図 11(7) 主要魚種の漁場分布図 (クロダイ・ヘダイ)



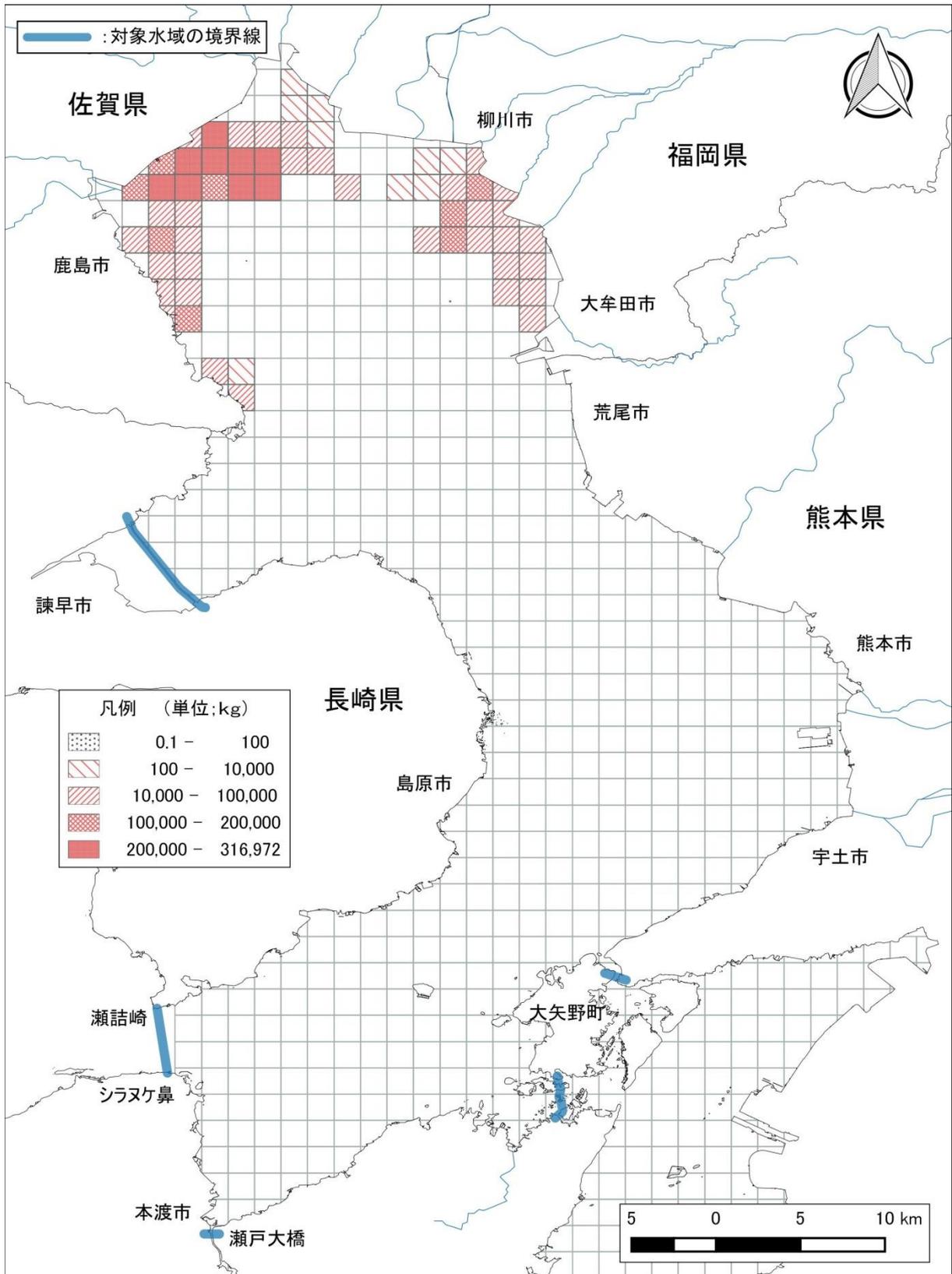
〔有明海〕 漁場分布図 【クルマエビ】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

図 11(8) 主要魚種の漁場分布図 (クルマエビ)



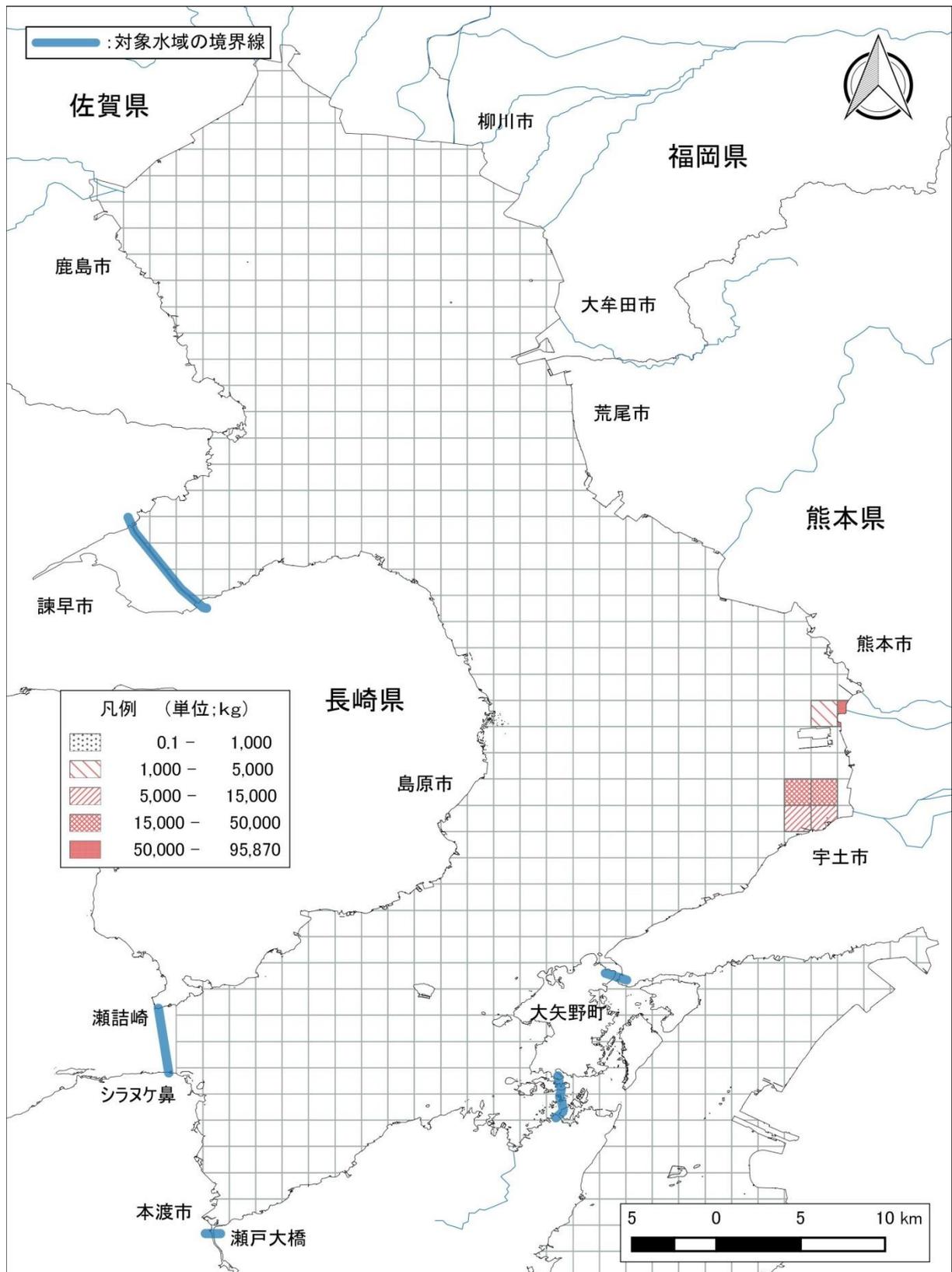
〔有明海〕 漁場分布図 【ガザミ類】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

図 11(9) 主要魚種の漁場分布図 (ガザミ)



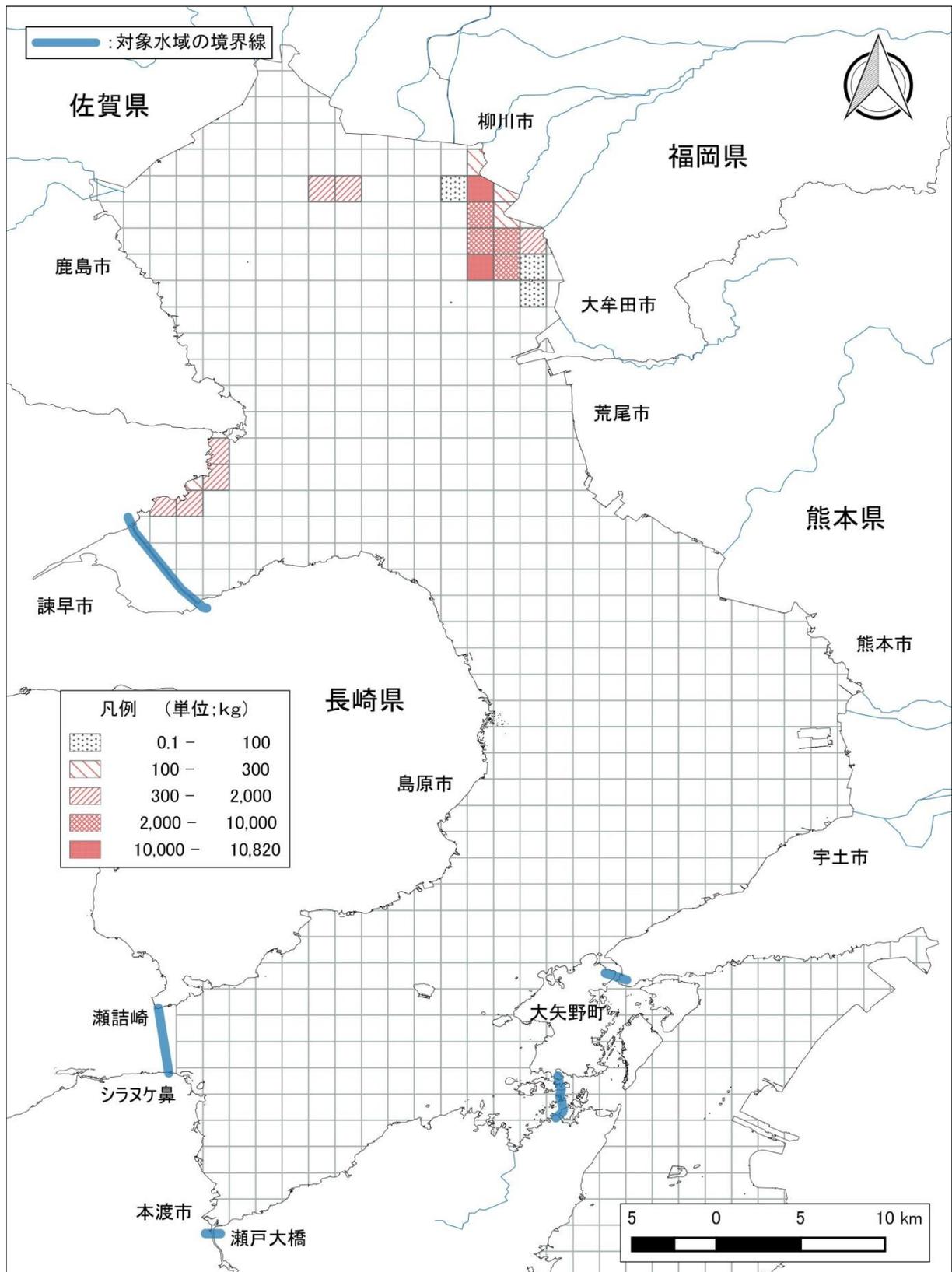
【有明海】 漁場分布図【サルボウ(モガイ)】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

1
図 11(11) 主要魚種の漁場分布図 (サルボウ)



〔有明海〕 漁場分布図 【ハマグリ類】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

図 11(12) 主要魚種の漁場分布図 (ハマグリ類)



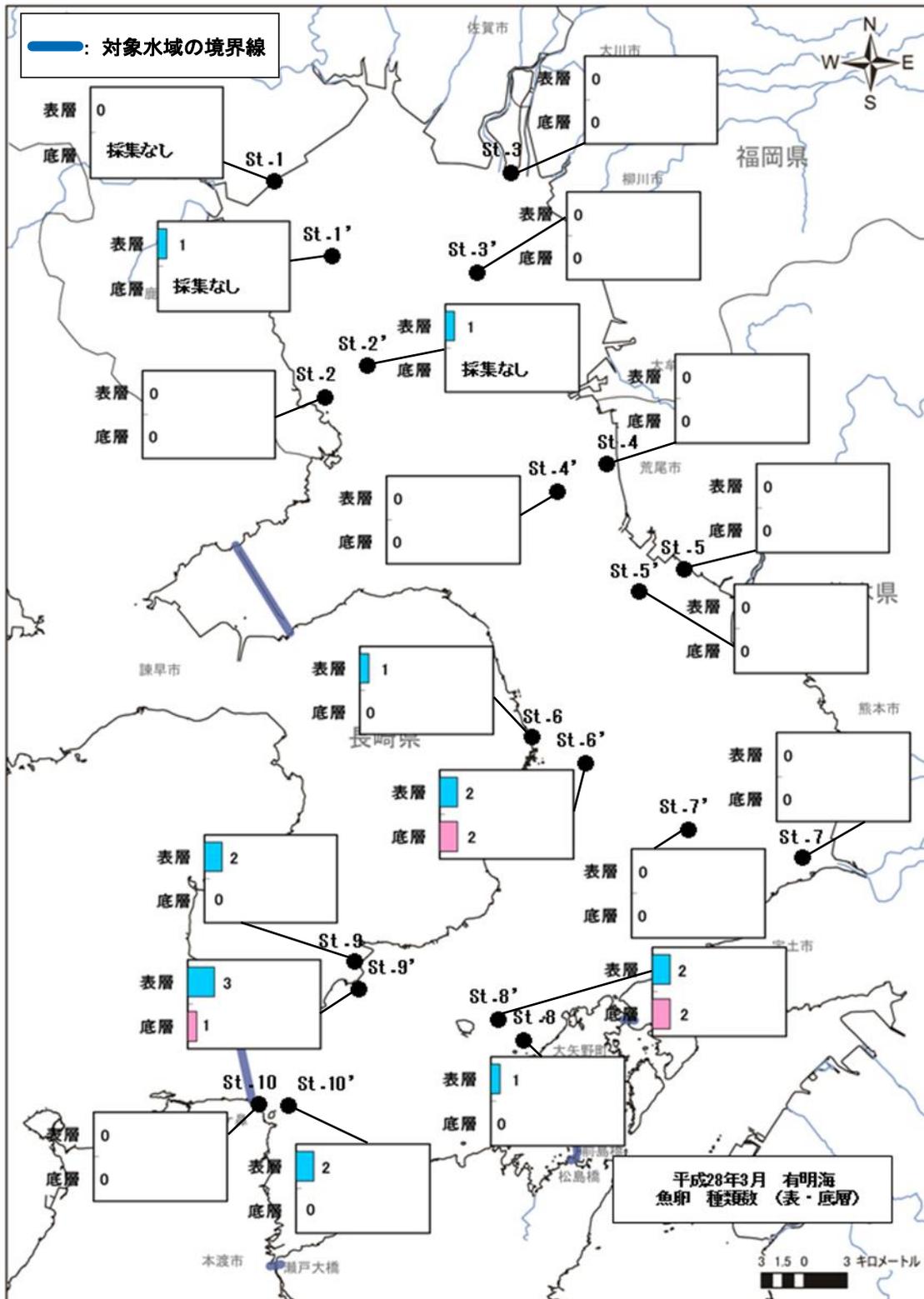
〔有明海〕 漁場分布図 【タイラギ】 出典:有明海等環境情報・研究ネットワーク (平成13年の統計資料及び漁場分布)より作成

図 11(13) 主要魚種の漁場分布図 (タイラギ)

表7 主要魚介類の産卵場及び生育場について

主要魚種名	現地調査結果等のまとめ
スズキ	<p>卵は採集されなかった。稚仔魚は夏季に St. 7 (住吉地先) で、冬季は St. 1 (鹿島地区)、St. 2 (太良地区)、St. 10 (長崎鼻地先) の潮間帯域で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場としては水深の深い湾口部や湾央部、生育場は湾奥部、湾央部東側の浅場や湾口部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
ムツゴロウ	<p>卵は採集されなかった。稚仔魚は夏季に St. 1 (鹿島地先)、St. 3 (筑後川河口地先)、St. 4 (荒尾地先)、St. 7 (住吉地先) で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場・生育場としては湾奥部、湾央部東側の干潟域を利用している可能性が高いと推定した。</p>
ヒラメ	<p>卵、稚仔魚は採集されなかった。既存資料や漁場分布から産卵場としては水深の深い湾口部や湾央部、生育場については湾全域の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
イヌノシタ	<p>卵、稚仔魚は採集されなかった。既存資料や漁場分布から産卵場・生育場としては湾奥部及び湾央部を利用している可能性が高いと推定した。</p>
コウライアカシタビラメ	<p>卵は採集されなかった。稚仔魚は冬季に St. 6' (南島原地先) の水深 10m 層で採集され、夏季は St. 3 (筑後川河口地先) で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場としては水深の深い湾央部、生育場は湾奥部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
アカシタビラメ	<p>卵、稚仔魚は採集されなかった。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場としては水深の深い湾央部、生育場としては湾奥部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
マコガレイ	<p>卵は採集されなかった。稚仔魚は冬季に St. 6 (南島原地先) の潮間帯域に形成されたアマモ場周辺で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場としては水深の深い湾央部、生育場は湾奥部や湾央部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
ホシガレイ	<p>卵、稚仔魚は採集されなかった。既存資料や漁場分布から産卵場としては水深の深い湾央部、生育場は湾奥部や湾央部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
マダイ	<p>卵、稚仔魚は採集されなかった。既存資料や漁場分布から産卵場としては水深の深い湾口部及び湾央部、生育場としては湾央部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>

主要魚種名	現地調査結果等のまとめ
クロダイ	<p>卵は採集されなかった。稚仔魚は夏季に St. 2(太良地先)、St. 6 (南島原地先) で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場としては水深の深い湾口部及び湾中央部、生育場としては湾中央部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
クルマエビ	<p>卵は採集されなかった。稚エビは冬季に St. 5 (岱明地先) と St. 10 (長崎鼻地先) の潮間帯域で採集され、夏季において稚エビは St. 3 (筑後川河口地先)、St. 4(荒尾地先)、St. 5(岱明地先)、St. 7(住吉地先)、St. 8 (野釜島地先) と St. 10 (長崎鼻地先) の干潟域で採集された。クルマエビ科のポストラバは St. 8 (野釜島地先)、St. 10 (長崎鼻地先)、St. 10' (長崎鼻地先) で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から、産卵場は水深の深い湾口部、生育場は湾奥部から湾中央部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
ガザミ	<p>卵は採集されなかった。稚仔魚は夏季にガザミ属のメガロoppaが St. 10' (長崎鼻地先) の沖合域で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場・生育場としては、湾中央部及び湾奥部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
アサリ	<p>卵は採集されなかった。稚貝は冬季に St. 4 (荒尾地先)、St. 5 (岱明地先)、St. 9 (南有馬地先)、St. 10 (長崎鼻地先) の 4 地点で採集され、夏季は St. 4 (荒尾地先)、St. 5 (岱明地先)、St. 6 (南島原地先)、St. 7 (住吉地先)、St. 9 (南有馬地先) で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場・生育場は湾中央部及び湾奥部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
サルボウ	<p>卵は採集されなかった。稚貝は冬季は St. 5 (岱明地先) の干潟域で、夏季は St. 5 (岱明地先)、St. 7 (住吉地先) で採集された。</p> <p>その生育場は干潟から水深 7m までの軟泥域となっている (表 2.1-2 参照)。</p> <p>既存資料や漁場分布から産卵場・生育場は湾中央部及び湾奥部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
ハマグリ	<p>卵は採集されなかった。稚貝は夏季及び冬季で St. 7 (住吉地先) の干潟域で採集された。</p> <p>既存資料や漁場分布から、産卵場は熊本県沿岸の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
タイラギ	<p>卵及び稚貝は確認されなかった。既存資料や漁場分布から産卵場・生育場は湾奥部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
マテガイ	<p>卵は確認されなかった。稚貝は夏季に St. 5 (岱明地先)、St. 6 (南島原地先)、St. 10 (長崎鼻地先) の干潟域で採集された。</p> <p>既存資料から産卵場・生育場は湾中央部及び湾奥部の浅場を利用している可能性が高いと推定した。</p>
アゲマキガイ	<p>卵及び稚貝は確認されなかった。既存資料から産卵場・生育場としては、湾奥部の干潟域を利用している可能性が高いと推定した。</p>



注)「採集なし」は、採集を実施していないことを示す。

図 12(1) 魚卵種数の出現状況 (冬季)